

平成24年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

家庭・地域教育課（内線：7519）

1目 社会教育総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)「とっとりふれ愛家庭教育」プロジェクト事業	2,052	0	2,052				2,052	
トータルコスト	6,075千円（前年度0千円）〔正職員：0.5人〕							
主な業務内容	家庭教育アドバイザー派遣、キャンペーンの開催等							
工程表の政策目標（指標）	社会全体で家庭教育を支援する体制づくり							

事業内容の説明

1 事業の概要

子育てへの不安や孤立化傾向など、様々な状況にある子育て中の親を支援するために、家庭教育の重要性や親子の関係づくりの大切さについて広く教育啓発するとともに、親としての役割や子どもとの接し方のポイントをわかりやすく講義・助言ができる「家庭教育アドバイザー」を派遣する。

2 事業内容

（単位：千円）

区分	事業費	事業内容
家庭教育アドバイザー派遣	692	<p>家庭教育や子育ての分野において専門的知識及び経験を有する方々を家庭教育アドバイザーとして登録（約10名）し、保護者が多く集まる就学前健診、保育所・幼稚園・小学校低学年の保護者会を中心に、出前講師として派遣（30回）し、草の根的に親の学びを支援する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><支援内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ○親としての学び ふれあい方、しつけ方、愛情の注ぎ方、言葉のかけ方など ○就学に必要な子どもの育ち 基本的な生活習慣、ルールやマナーの遵守、自立など </div>
家族の絆キャンペーン	1,360	<p>市町村教育委員会・保育所・幼稚園、保健センター等と連携し、家庭教育の重要性や親子の関係づくりの大切さについて、『子どもとしっかり向きあおう！』、『親子の会話を大切にしよう！』というメッセージを発信し、保護者への普及啓発を図る。</p> <p>なお、広報物については、まんがを用いるなど、保護者にわかりやすいものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「ふれ愛家庭教育」講演会の開催 ○啓発広報（ポスター、チラシ、家庭教育のしおり、クリアファイル、子育て情報誌への広告掲載）
合計	2,052	

3 これまでの取組状況、改善点

- ・少子化・核家族化等により、親としての学びの機会がなく、子どもとの接し方がわからないなど、子育てに不安や悩みをもつ保護者が増え、保護者の子どもへの関わり方が子どもの育ちにも影響し、小1プロブレムや不登校などの様々な課題の要因の一つとなっている。
- ・このため、平成23年度は、保護者会等で家庭教育について、学びあえる仲間づくりを進める参加体験型学習プログラム「とっとり子育て親育ちプログラム」を作成し普及を図るとともに、「子どもと向きあおう」というメッセージをテレビ、新聞、ポスター、リーフレット等で発信してきた。
- ・今後も、この取組をさらに進め、特に子どもへの影響が大きい就学前後の保護者を中心に、家庭教育の重要性について直接働きかけ、「子どもとの関わり方」や「親としての学び」について支援を行う必要がある。